

事前確認書 トライブリッド蓄電システムESS-T5シリーズ、ESS-T6シリーズ

蓄電システムご購入前のご確認事項 <必ず確認欄に☒チェックをお願いします>

本システムをより快適にお使いいただくために、設置に関する事前確認事項をご精読ください。
該当の項目において、ご理解・ご承諾いただけない場合は、商品のご購入、設置ができません。（見守りサービスは任意）
<ニチコン蓄電システムをより深くご理解頂くための資料>①ニチコン蓄電システムカタログ(https://www.nichicon.co.jp/products/ess/catalog_library.html)
②ニチコンホームページ(<http://www.nichicon.co.jp/products/ess/>)

V1.2

確認事項	確認事項のご説明	確認
保証期間	本システムは〔家庭用〕として開発しております。従いまして家庭用以外のご利用では保証期間は1年(室内リモコン:オプション含)となります。但し、弊社指定の要件を満たす同意書の提出、あるいは業務用延長保証サービス(有償)にご加入の場合は家庭用モデル相当の保証期間(室内リモコン:オプション含)となります。これら手続きは販売店へご相談ください。	<input checked="" type="checkbox"/>
心臓ペースメーカー	ペースメーカーや植込み型除細動器(ICD)を使用している方は装置に触れたり、手の届く範囲に近づかないでください。ペースメーカーやICDが誤作動する可能性があります。詳細は一般社団法人 日本不整脈デバイス工業会作成の患者様向けパンフレットをご確認ください。	<input checked="" type="checkbox"/>
ノイズ	製品や配線から発生する電氣的ノイズが近隣(目安として半径100m以内)のアマチュア無線やラジオ等の電波受信に影響を与えることがあり、近隣にアマチュア無線局等ある場合、購入される前に販売店へご相談ください。	<input checked="" type="checkbox"/>
補助金	本システム購入にあたって、各種補助金を受給した場合は、保有期間が義務付けられる場合があります。保有義務期間満了前に機器の処分(転用、譲渡、交換、貸付け、担保に供する処分、取壊し、廃棄)を行う場合は補助金執行団体へ申請し承認を受けてください。未承認のまま処分すると、補助金の返還を求められることがあります。詳細は補助金執行団体にご確認ください。 ・設置時から期間内に修理が必要になった場合は、お買い上げの販売会社にご連絡ください。	<input checked="" type="checkbox"/>
スマートフォンの専用アプリ	・本システムは室内リモコンの他にスマートフォンの専用アプリ(以下、専用アプリ)で操作します。専用アプリは、Google Play、App Storeからダウンロードしてください。 ・専用アプリはAndroid™ 端末:Android 9以降／ iPhone:iOS15以降(2024年6月現在)のスマートフォンとOSに対応しています。ご使用のスマートフォンが専用アプリに対応していない場合、専用アプリを使用出来ません。 ・専用アプリを使用するには、スマートフォンを専用アプリ対応OSにバージョンアップ又は、対応するスマートフォンへの機種変更が必要です。 ・専用アプリはお客様への事前の承認なしに専用アプリの内容及び対応するスマートフォンやOSを変更することがあります。 ・スマートフォンのOSの更新があった場合は、専用アプリが正常に動作しない可能性があります。その場合、対応版専用アプリの準備までお待ちいただく場合がございます。専用アプリは全てのスマートフォン、すべてのお客様のご利用環境での動作を保証するものではありません。 ・ご使用のスマートフォンが専用アプリに対応しなくなった場合、専用アプリのバージョンアップが出来ません。専用アプリをバージョンアップするには、スマートフォンを専用アプリ対応OSにバージョンアップ又は、対応するスマートフォンへの機種変更が必要です。 ・パソコンの接続設定(IPアドレス設定)はデフォルトで「自動設定」です。特別な理由・事情がない場合は「自動設定」のままご使用ください。IPアドレスの手動設定にはネットワークの専門知識が必要です。販売店やルーターメーカー等にご相談下さい。 ・IPv6には対応しておりません。 ・専用アプリと室内リモコンを併用した場合は後入力優先で動作します。	<input checked="" type="checkbox"/>
無線LANルーター	・専用アプリで操作するには、無線LANルーター(市販品)と室内リモコンとを有線LAN接続した環境の構築が必要です。 ・通信内容の傍受、不正利用、なりすましなどを防止するために、適切なセキュリティ設定(暗号化設定)を行ってください。 ・セキュリティ設定は、ネットワーク上の制限が無い限り、安全性が高いWPA2(AES)に設定することをお勧めいたします。 ・新築やお引越して、ご入居時より専用アプリをご使用いただくためには事前に無線LANルーターへの接続が必要です。 ・このネットワーク環境は、お客様のご負担でご準備をお願いいたします。 ・スマートフォンと無線LANルーターとのWi-Fi接続は、相互の機器の手順に従ってください。 ※通信料はお客様負担となります。 ・専用アプリは室内リモコンに接続された無線LANルーターのWi-Fi接続可能エリア外からは操作できません。 ・インターネット回線を利用する方法として室内リモコンのLAN接続にポケットWi-Fi等のキャリア回線(携帯回線)を用いた接続は、安定しないため利用できません。	<input checked="" type="checkbox"/>
長期不使用	長期間ご使用にならないときは、取扱説明書に記載の「長期不在の場合」に従って適切に処置してください。電池使用の場合は処置の間違があると電池が過放電となり、高額な修理費用が発生する場合があります。	<input checked="" type="checkbox"/>
点検コード放置	スマートフォン専用アプリ、または室内リモコンに点検コードが表示されている状態で放置しないでください。また蓄電システムブレーカ、契約ブレーカを2週間を超えて「切」の状態では放置すると蓄電池が過放電の状態となり、蓄電池交換(有償)となる場合があります。	<input checked="" type="checkbox"/>
メンテナンスモード	年に1回、蓄電池を点検するために、自動で実行します。メンテナンスモードの実行には、200W以上の家電品の接続が必要です。ご家庭内の消費電力が少ないと、メンテナンスモードが正常終了できないことがあります。実施期限内にメンテナンスモードが完了しなかった場合は、メンテナンスモードを中止し、同年の9月にリトライされます。蓄電池を長く性能維持させ、誤動作防止のために、メンテナンスモードは必ず正常終了するようにお願いします。	<input checked="" type="checkbox"/>
停電時動作の注意点	本システムは、停電運転、復電後の通常運転に切り替わる際に、数秒間電源供給が切れます。デスクトップパソコンや録画機器等データの保存が必要な機器については、UPS(無停電電源)の接続を推奨しております。また、電源が切れてはならない医療機器等は絶対に本システムに接続しないでください。分電盤で配線を分けて別に接続する等の対応が必要となります。なお、本システムの出荷時の設定では、停電時自動的に電力を供給します。電熱器等、電源供給が自動復帰されることで災害時に火災発生のおそれがある機器類は電源が自動復帰されても安全な機器(動作状態がリセットされるもの)をご利用いただくか、室内リモコンにて「停電時出力」を「手動」に変更してご利用ください。この操作は専用アプリでは出来ません。ON状態を維持できる電気機器は注意が必要です。センサー機能や調光機能がある照明は、停電時にちらつく場合や動作しない場合があります。 ・室内リモコンとスマートフォンを直接Wi-Fi 接続する方式があります。無線LAN ルーターが停電や故障などにより使えない状態になった場合でも、無線LAN ルーターを間に介さずに専用アプリを使用することができます。(ダイレクト接続中は、室内リモコンおよびスマートフォンがインターネットへ接続できなくなります。)	<input checked="" type="checkbox"/>

確認事項	確認事項のご説明	確認
停電時の自立出力	蓄電池の非常時の出力は最大4.0kVA(ES-T*M1、MG1)/5.9kVA(ES-T*L1、X1、XG1、Z1)です。太陽光発電している、EVを接続している場合は、最大5.9kVAまで出力できます。天候や温度、蓄電池残量により使える電力は異なるため、目安として約3.5kW以内でご利用ください。ポンプやモーター等、起動電力が大きい機器は使用しないでください。(ドライヤーや温水便座などは、自立運転が停止し、再起動を繰り返す場合があります。その際は使用している機器のコンセントを抜いてください。)	<input checked="" type="checkbox"/>
蓄電池	蓄電池ユニットの充放電可能な容量が低下すると、点検コード「BI417」を繰り返し表示してお知らせします。 その後充放電可能な容量の下限値まで低下すると、点検コード「BI418」を表示し、蓄電システムは蓄電池ユニットの充放電を停止して動作を継続します。(「■点検コード「BI418」発生時のホーム画面例」参照) 蓄電池ユニットの交換をご希望の場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。 また、蓄電システムが蓄電池ユニットの充放電を停止した状態で動作している間は、蓄電池ユニットの動作に関する項目が選択および設定できなくなりますのでご注意ください。	<input checked="" type="checkbox"/>
低温時の動作	蓄電池設置場所の気温が0℃を下回る場合には、蓄電池特性により、通常時と比べて蓄電池容量が20%前後低下します。その結果、冬季の満充電状態である80%付近で100%に値が変わる場合があります。(放電時も100%から80%付近に変わる場合あり)それに伴い、電池残量の表示などにズレが生じる場合がありますが、故障ではありません。	<input checked="" type="checkbox"/>
充放電制御	蓄電池使用温度範囲(-10～+40℃)の上限もしくは下限付近になると、蓄電池保護のため充放電電力が低下します。特に温度が低い時は、充電電力が低下します。なお、充電電力の低下により、太陽光発電電力の一部が充電できず売電される場合があります。 また、蓄電池のご使用状況によっては、充電電力が低下することがあります。	<input checked="" type="checkbox"/>
充電不足	ご家庭の使用電力が大きいと、蓄電システムの充電電力が少なくなり、充電時間が延びたり、設定した時間内に所定量まで充電できない場合があります。その場合は契約電力を見直してください。	<input checked="" type="checkbox"/>
停電時の起動	全電源喪失時(停電時に蓄電池がない、蓄電池残量がない、太陽光発電していない、EVが充放電していない場合等すべての電源がない)V2Hシステム付属のケーブルを利用して、手動での起動が必要になることがあります。	<input checked="" type="checkbox"/>
2台以上の設置	各蓄電システムに対して系統を別けていただき、1系統あたり契約容量20kVA 100A以下に1台設置願います。蓄電池設備の規制に基づき消防法の届け出が必要です。電力申請は押上げ有契約となります。	<input checked="" type="checkbox"/>
動作音	本システムは動作時に最大40dBの動作音が発生します。設置場所によっては、うるさく感じられる場合がありますので、設置場所の選定には気を付けてください。	<input checked="" type="checkbox"/>
重塩害地域	重塩害地域、沖縄・離島への設置はできません。(別紙参照)	<input checked="" type="checkbox"/>
太陽光との接続	併設可能な太陽光はパワーコンディショナの太陽光設備容量との合算で、最大20kWとなっております。また、併設する太陽光パワーコンディショナの発電電力も余剰充電することが可能ですが、100～200W程度売電します。	<input checked="" type="checkbox"/>
エネファーム	エネファームは、接続可能機種が限られますので、販売会社にご相談ください。なお、逆流設定のエネファームは併設できません。	<input checked="" type="checkbox"/>
エコキュート	エコキュートが稼働する深夜帯と蓄電池の充電時間と重なると、充電に時間がかかったり、または満充電にならない場合がありますので、その場合には充電時間帯を変える等の処置を行ってください。	<input checked="" type="checkbox"/>
放電中の買電	蓄電池及びV2Hを利用した放電中、及び余剰充電中でも、電力会社から0.1kW前後の買電が発生します。①蓄電池及びV2Hを利用した放電中は、電力会社との取り決めにより、わずかに電力を買電しています。②放電開始時にご家庭内の消費電力が65W以下の場合は、放電を開始できません。③放電中にご家庭内の消費電力が30W以下になった場合は放電を停止し、65W以上になると放電を再開します。④家電製品には消費電力が急に変動するものがあり、その変動に追従できない分を買電する場合があります。	<input checked="" type="checkbox"/>
設置条件・環境 設置の注意点	設置スペースや、直射日光が当たるところには設置できないなど弊社で定めた設置条件・環境への注意事項がございます。詳細はホームページにてご確認ください。 https://www.nichicon.co.jp/products/ess/user_support.html#anc01 蓄電池ユニットをパワーコンディショナの真下に設置する場合も、機器間の離隔距離を400mm確保してください。 まずはパワーコンディショナのみをご購入され、後から電池ユニット導入への発展をお考えの場合は、機器間の離隔距離が保てるように、予めパワーコンディショナ設置位置に十分ご注意ください。(必要な離隔が確保されていないと、双方のアフターサービスが実施できなくなることがございます。) ・パワーコンディショナの吸気温度が40℃を超える場合は出力抑制がかかります。	<input checked="" type="checkbox"/>
故障時の損失	万一、本システムの故障に起因し、もしくは関連して発生したお客様の損失(電気、水道、ガス代等)に関わる費用は、保証期間内／外を問わずお客様負担となります。	<input checked="" type="checkbox"/>

V2H システムを設置しない場合も、将来増設が可能でございますので、ご確認ください。

V2H システム を設置の場合	製品について	本製品は家庭の交流を直流に変換し車両へ充電、車両の直流を交流に変換し家庭へ放電を行う電気機器です。直流から交流、交流から直流への変換時には変換ロスが発生致します。また充放電時には、家電製品同様に本製品や車両側で一定の内部消費電力が発生します。 本製品を導入いただくことで電気料金の節約など経済効果を保証するものではありません。	<input checked="" type="checkbox"/>
	拡張充電電力	拡張充電は太陽光の発電電力、蓄電池の電力、系統電力を利用して、最大9.9kWでEVへの充電を行います。車種や車両の状態および外部環境によって、充電電力が異なります。	<input checked="" type="checkbox"/>
	充放電コネクタの車両への接続	コネクタロック中は通電状態となり、車両の蓄電池を徐々に消費します。消費を抑えたいときには、充放電コネクタを車両から取り外すか車両電力消費抑制を「する」に設定してください。	<input checked="" type="checkbox"/>
	太陽光余剰電力を車両へ充電する場合	太陽光余剰電力を車両に充電する場合は、99%未満で充電を停止します。また放電する場合は、車両ごとに定められた放電可能下限値より高い値で放電が停止します。	<input checked="" type="checkbox"/>
	メンテナンスモード時の車両への充放電	メンテナンスモードの蓄電池への充電動作が終了するまでは、車両への充電および放電はできません。蓄電池への充電動作完了後、蓄電池から車両へのエレンプ充電を行います。メンテナンスモード終了後に、車両への充電が完了していない場合は、充電時間帯であれば、引き続き充電を行います。	<input checked="" type="checkbox"/>
	雨や雪での使用	雨や雪の中でも使えますが、感電や漏電の恐れがあるので、濡れた手でコネクタに触れたり、抜き差ししないでください。コネクタが濡れているときは、充放電していない時に布などで水分を拭きとってから操作してください。 但し暴風雨や豪雪のときは、充放電しないでください。 冬季には充放電コネクタ部が凍結し、「充放電コネクタが抜けない」ことがあります。その場合は、ぬるま湯をかける、もしくはドライヤーなどで解凍してください。	<input checked="" type="checkbox"/>
	車両のリモートコントロール機能	各自動車メーカーのリモートコントロール、専用アプリ機能は、コネクタロック中は使用できない場合があります。	<input checked="" type="checkbox"/>
	コネクタロックの解除	車両によっては充放電電力が少ない場合、車両からの要求で動作を停止し、コネクタロックが解除されることがあります。本製品の「車両電力消費抑制」をご利用いただくことで、グリーンモードなど自動運転モードでの継続的なご利用が可能となります。	<input checked="" type="checkbox"/>
	車両の満充電後	車両によっては満充電状態まで充電した後に放電を開始した場合、中断することがあります。一度充放電コネクタの抜き差しを行う/もしくは車両蓄電池残量が1%程低下するまで走行することで放電が可能になります。 本製品の「車両充電上限値」「車両余剰充電上限値」をご利用いただくことで、満充電状態を回避することが可能です。	<input checked="" type="checkbox"/>
	V2Hシステム対応車種	本システムの対応車種については、下記URLをご確認ください。 https://www.nichicon.co.jp/products/tribrid/v2h/ev_car_make.html	<input checked="" type="checkbox"/>

蓄電システムの見守りサービスに関するご承諾およびSII補助金申請について

お客様が長期にわたって安心してご利用いただけるように、インターネット経由で蓄電システムの運転状態を無償でモニターする「見守りサービス」を提供しています。ご希望される場合は、下記の「ニチコンオーナーズ倶楽部Webサイト」で会員登録いただき、見守りサービスのお申し込みをお願いします。

ニチコンオーナーズ倶楽部Webサイト: <https://owners.nichicon.co.jp/>

(会員登録: 無料、各サービス: 無料) QRコードでも簡単にアクセス可能です⇒



見守りサービスのメリットは、蓄電システムの①エラー発生状況、②充放電時間・量などの運転情報を深夜時間帯に自動収集し、運転をモニターする他、③機器のソフトウェアの更新、④太陽光出力制御要請が発生した場合の自動対応、⑤将来ネットワーク経由で提供される新サービスなどへの対応の可能性があります。※インターネットへの接続方法は工事業者にご依頼願います。 ※通信料はお客様負担となります。

SII補助金(ZEHなど)を受給する場合、製品同梱の保証書以外に、SIIへの提出資料として、システム保証書が必要となります。上記の「オーナーズ倶楽部Webサイト」で会員登録(登録は無料)した上で、必要事項を記入の上、お申し込みください。

販売店様/施工店様へご協力をお願い

設置完了報告書の原本をニチコン(下記送付先)へ提出願います。

設置可能エリア

蓄電システム(V2Hシステム含む)は沖縄、北海道を除くエリアに設置可能です。

塩害の影響による設置可否について

蓄電システム(V2Hシステム含む)が設置可能な場所を下表のように定めています。

“沖縄・離島(※1)以外の地域、かつ、重塩害以外の場所”であれば設置可能です。

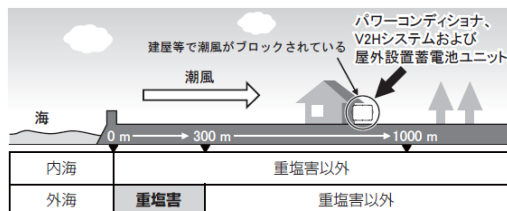
	沖縄・離島	沖縄・離島以外の地域
重塩害	×	×
重塩害以外	×	○

○: 設置可

×: 設置不可

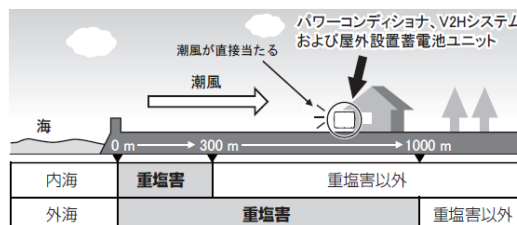
詳細はコチラ ⇒ https://www.nichicon.co.jp/products/ess/qa_juengai.html

●直接潮風は当たらないが、その雰囲気内にある場合



【図1】

●直接潮風が当たる場所



【図2】

※1.離島: 北海道・本州・四国・九州の4島を本土とし、本土から離れ、四方を海で囲まれている島を指します。
ただし、内海※2にある島や、外海※3にあっても本土と橋などの陸路が通じていて常時通行が可能な島を除きます。
(陸路がある離島の例: 淡路島、平戸島、天草、福島・鷹島・大島(長崎)、長島(鹿児島))
重塩害の区分については、上記の設置場所と設置可能距離が適用されます。
※2.内海: 瀬戸内海(図3の水色のエリア)、東京湾(図4の水色のエリア)、伊勢湾(図5の水色のエリア)
※3.外海: 内海以外の海

お客様の同意確認

本事前確認書の内容を理解し承諾します。 年 月 日

フリガナ	電話番号	—	—
お名前	印	ご住所	〒
販売店様	ご担当者様	電話番号	—

(送付先) 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町14-9 ニチコン株式会社 NECST事業本部 ESシステムサービスグループ

※署名、捺印いただいたあと、コピーをお手元に、原紙を送付先へお送りください。お客様の個人情報は、商品に係る情報提供やアフターサービスを行うことを目的とし、お客様の同意なしに業務委託先及び関係先以外の第三者へ開示・提供することはありません。本事前確認書の内容は予告なく変更する場合があります。